



定例会の議案審議、一般質問などの詳細は、上記のQRコードから映像でご覧いただけます。

5月号

編集・発行/藤井寺市議会
☎939・1208

ふじいでら 市議会だより

本市市議会議員の写真週刊誌での報道について

本年3月に写真週刊誌で本市市議会議員に関して報道されたことは、誠に遺憾であり事態を重く受け止めております。

この報道により、市政を混乱させ信用を失墜させたことについて、3月20日に花崎由貴子議員から謝罪がありました。また、同議員に対し厳重注意を行いました。

今後、市議会をあげて信頼回復に努めてまいります。

藤井寺市議会議長 畑 謙太郎

る意見書

◎アスベスト被害を抑える対策の強化を求める意見書
次に善処を求めました。

国に意見書を提出

次の意見書を全会一致で採択し、関係機関に善処を求めました。

すべての案件を議決し閉会しました。

令和5年第1回定例会のあらまし

令和5年第1回定例会は2月16日から3月24日までの37日間の会期で開催され、令和5年度予算、報告案件、条例案件、その他

一般質問



改革ふじいでら

代表質問

山本 忠司

1 効率的な行政運営について

(1)自治体DXの推進について

質問 行政サービスにおけるデジタル技術などを活用した、住民の利便性を向上させる取り組みについてお聞かせください。

答弁 市民サービス向上につながる取り組みとして、藤井寺市オンライン窓口がありますが、今後も準備の整ったものから順次、手続きのオンライン化を拡充したいと考えます。

質問 デジタル技術やAI・RPAなどの新しい技術の活用により、業務効率化を図り、人的資源を行政サービスの向上につなげていく取り組みについてお聞かせください。

答弁 議事録作成のテープ起こしを音声認識AIにより行うことで作業時間の大幅な縮減に取り組み、またRPAを庁内に試験的に導入し、その効果を検証するRPAイニシアティブ藤井寺を組織し、各種課題や効果の検証を行っております。

要望 デジタル技術は進歩していきますので良いものを取り入

れ行政サービスの向上につなげていただくことを要望します。

(2)デジタル人材の育成について

質問 新たな技術やシステムの導入と同時に、それらを使いこなす人材の確保や育成が非常に重要だと考えますが取り組みについてお聞かせください。

答弁 庁内各課から1人、デジタル技術を活用するICT推進員を選出してもらい、実際に活躍できる場をつくるなどの取り組みを行っております。また、3年目職員などへの情報リテラシー向上研修も検討して参りたいと考えております。

質問 市長のDX推進に向けた、お考えをお聞かせください。

答弁 デジタル技術の浸透は、時代の流れでもあり幅広い市民ニーズに応えつつ、新しいことにも臆することなく、チャレンジし、全職員が一丸となり市民サービス向上や業務効率化に向け、自治体DX推進に取り組みでまいります。

要望 日進月歩する新しいデジタル技術に幅広くアンテナを張りつつ、さらなる効率的な行政運営を図っていただき、その効率化した人的資源を人でなければいけない場面や場所の行政

サービスに生かしていただくことを要望します。

2 観光振興施策について

(1)まちなか観光創造プランの改定について

質問 社会状況が大きく変化したことなどを踏まえて1年前倒しで改定作業を進められておりますが、新たなプランの内容についてお聞かせください。

答弁 アフターコロナや大阪関西万博の開催などに伴う外部誘客の強化、観光拠点施設となるアイセルシュラホールの魅力向上、戦略的な情報発信など、今後の取り組みを体系的に示しております。

質問 世界遺産の古墳群がキーワードとなると考えますが、羽曳野市との連携について、また南河内エリア全体での取り組みについてお聞かせください。

答弁 古市古墳群をはじめとする両市の観光スポット周遊に大変便利なシェアサイクルの実証実験をスタートしました。今後也更に連携を深め情報発信に取り組みでまいります。また南河内エリア全体でも共通認識を図り、南河内の玄関口としての効果的なプロモーションを展開してまいります。

要望 今後のポストコロナや大

阪関西万博の開催も見据え、更にその先につながる持続可能な取り組みを要望します。

(2)アイセルシュラホール活用計画について

質問 観光振興施策に取り組み拠点施設となるアイセルシュラホールの活用に向けた基本構想策定の内容をお聞かせください。

答弁 1階は観光案内機能やお土産物の販売、カフェコーナーなどを設け、2階には古墳ミュージアムとして世界遺産ガイダンス機能を設ける構想となっております。

質問 観光案内所の機能強化や充実についてのお考えをお聞かせください。

答弁 本市の観光情報の発信だけでなく、南河内エリアの情報も発信し、来訪者が便利に楽しく過ごしていただけるような施設を目指します。

質問 アイセルシュラホール観光拠点化についての、市長の意気込みをお聞かせください。

答弁 南河内エリア全体の玄関口となり大阪に来たならば1度は訪れておかないといけないスポットとして多くの皆様にご来館いただけるような施設にしていきたいと考えております。

要望 アイセルシュラホールが藤井寺を代表する、大阪の新た

な観光スポットとして、広く名が知れ渡りますように取り組んでいただくことを要望します。

3 藤井寺市教科用図書採択について

質問 大日本図書特別調査委員会の報告書には、教育委員2人が大日本図書から接待を受けたと記載されておりましたが、当時の状況をどのように説明を受けたのかお聞かせください。

答弁 報告書との相違点として、当時の食事代金は会費として元校長に支払っており接待という認識はなかったと説明がありました。

質問 2人の教育委員が辞職した理由をお聞かせください。

答弁 先日行われた採択替えに係る臨時教育委員会議に出席する資格はないとの判断から辞職願を出されました。

質問 臨時教育委員会議において、どちらの教科書会社に決まったのかお聞かせください。

答弁 数学科は啓林館で保健体育科は東京書籍に決まりました。

質問 今回の採択替えにおいて、前回の採択との事務手続き上の変更点についてお聞かせください。

答弁 教科研究会の協議内容の

柱をメモに残すこと、選定委員会の会議録を作成すること、誓約書に教科書採択における公正確保や教科書発行者との関係などについて、十分説明を受け理解したことを明記することを変更して採択業務を進めました。

質問 これまで活用してきた教科書が変更されることによる生徒や教員への影響についてお聞かせください。

答弁 学ぶべき内容に変更はなく生徒への影響は少ないですが、指導する側の教員は資料などを再度作成する必要があり影響があると考えております。

質問 令和5年度は小学校の教科用図書採択が実施されますが、第三者委員会の提言を再発防止策に反映させた形で実施は可能なのかお聞かせください。

答弁 これまでのスケジュールを少し遅らせてでも、提言内容を盛り込んで実施していきたいと考えております。

政に対する信頼を回復するためにより一歩進んでまいります。

要望 徹底的に調査や検証をしていただき報告書で示される再発防止に対する提言を教科書の採択事務手続きに反映させて、二度とこのような事件を起こさないよう強く要望します。



公明党
代表質問
片山 敬子

1 带状疱疹ワクチンについて
要望 带状疱疹は、80歳までに3人に1人掛かるといわれています。高価な費用が掛かる带状疱疹ワクチンの費用助成の要望をいたします。

2 デジタル社会への対応について
(1) 行政手続きオンライン化の進捗状況について
質問 本市のオンライン化の状況をお聞かせください。

答弁 各種行政手続き、各種公民講座やイベント申し込み、市内の小・中学校、保育所・幼稚園への欠席連絡、来庁窓口予約、お悔やみサポートデスク相

談や母子手帳交付面談、市・府民税の申告来庁予約などの実施。約15000件のオンライン受け付けをしました。

(2) 市民サービス向上につながる本市の魅力あふれるLINE公式アカウントの活用について

質問 本市のLINE公式アカウントではメニューからオンライン申請を行うことができず、動線についてどのように工夫されていますか。

答弁 通常メニュー、子育てメニュー、防災メニュー、簡単メニューなど設けており市オンライン窓口申請、予約もでき、必要な情報に少ないタップ数で辿り着くよう工夫しています。

質問 沢山の便利な機能がありますがデジタルバイト(情報格差)の問題もあり「知らない」「使えない」状態であれば効果も薄いです。以前私が要望し実施していただきましたスマートフォン講座の反響と市LINE公式アカウントの利用方法の講座は行われたのかお聞かせください。

答弁 定数の8割も申し込みがあり大変好評でした。オンライン窓口の利用法や市LINE公式アカウントの利用法を講座で行いました。

ウントは他市に比べても非常に素晴らしい内容です。けれども知っていただくことが重要です。引き続きスマートフォン講座やLINE講座を市役所においてお願います。また、本市ではマイナンバーカードの申請が75%超えています。今後この公的認証を利用して、電子マネー、電子クーポン給付業務に活用することは、市民の利便向上だけではなく、業務の効率化につながると思えますので取り組んでください。

3 脱炭素社会の実現に向けて
(1) カーボンニュートラルの本市の考え方について

質問 国際社会は2050年までに世界全体の温室効果ガス排出量実質ゼロを目標としています。本市の考え方についてお聞かせください。

答弁 温室効果ガス削減に向けては、行政だけではなく、市民、事業者一体となって市民生活の質向上や事業者の企業価値向上につながる施策をしっかりと進めてまいります。

(2) 取り組みについて
答弁 国の最新の脱炭素施策や、先進自治体の取り組み事例を今後の計画策定に盛り込み取り組める所から取り組んでいき

ます。

(3) 今後の目標について
答弁 現計画では2023年度には16.5%、2030年度に40%の削減目標を設定しています。今後環境省や大阪府にも協力をいただき脱炭素に向けて地域全体で取り組んでいきます。

(4) 環境教育について
質問 新学習指導要領において現在小・中学校で行われている環境教育について教えてください。

答弁 それぞれの教科や総合的な学習の時間に発達段階に応じ行われています。

要望 温暖化対策を進めるには多くの市民、事業者が協力いただくことが重要です。そのため市長にゼロカーボンシティ宣言をしていただきたいです。また、今後新設する公設施設への再生エネルギー設備の導入や災害時の非常用電源としても活用できる電動車の導入、小・中学校への太陽光パネル設置等、市自ら事業者として環境負荷の低減に取り組んでください。また、プラスチックゴミによる海洋汚染問題、給食後牛乳パックの処理回収の取り組みなど環境教育の充実をお願いします。

4 藤井寺市立学校における教

科書採択問題について

要望 不正な行為が認められた手続きによって採択された教科書という点から考えて、本来なら採択を行わなくてもよい時期に採択替えを実施したことは画期的なことだと考えています。

しかし第三者委員会の運営や教科書等の購入で令和4年度12月と3月補正を併せて総額677万7千円も予算化されています。今回の事件がなければ使う必要のなかった税金が投入されたことに納得いきません。元校長や大日本図書に賠償請求をしていただきたいと思います。



公明党
個人質問
伊藤 政一

1 生活環境での目線の違いについて

質問 (一)子どもの目線について
市立学校内の安全確認はどのようにされていますか。

答弁 職員だけでなく、子どもの視点からも行っています。

要望 児童生徒の更なる安全安心の環境整備を進めてください。

質問 鉢塚古墳の整備についてお聞かせください。

答弁 世界遺産に相応しい、古墳に整備する工事の調整中です。

要望 工事開始前に周辺の住民

へ丁寧な周知を要望いたします。

(2)子どもを見守る大人の目線について

質問 児童の登下校の様子を見ると持ち物が負担になっています。

答弁 負担軽減のため家庭学習に不要なものは学校に保管や分散持参など配慮しています。

質問 小学校ではランドセルでないといけないのですか。

答弁 市としてランドセルを指定していません。

要望 大半の方がランドセル以外の選択ができることを知りません。各家庭で比較検討できることの周知を要望いたします。



公明党
個人質問
玉田 日登美

1 選挙支援カードについて

質問 「選挙支援カード」は、「会話ができる」「メモができる」「指さしができる」「代筆してほしい」「候補者名を読み上げてほしい」などの項目に○をつけるだけの簡単な形式でホームページなどから印刷して投票所の受け付けで見せるだけで代理投票が可能となります。本市でも、積極的に導入に向け取り組んではいかがでしょうか。

答弁 □頭で投票の意思表示が

難しい方には選挙支援カードは有効なものだと思いますので導入を検討していきたいと考えております。導入が決まりましたら、ホームページに掲載するとともに広報に掲載し周知してまいります。

2 民生委員・児童委員の活動について

要望 なり手不足が深刻な民生委員の活動内容や重要性を広く市民に知ってもらう周知活動に力を入れてください。



大阪維新の会
代表質問
松本 洋介

1 財政健全化について

質問 財務省近畿財務局から本市の人員費は類似団体84団体中67位と示されています。主たる要因を伺います。

答弁 類似団体と比較し直営部門や住民関連、福祉関連部門などにおいて職員数が多い傾向にあります。

質問 分析結果を受けて、本市の対策を伺います。

答弁 行財政改革アクションプ

ラン2020の集中改革項目に取り組んでおりますが、行財政改革の総括部署として取組中心部課と連携を図りながら、進めてまいりたいと考えております。

要望 人件費が高水準となっている要因の一つに直営部門などにおいて職員数が多いことがわかりました。少子高齢化が進む

昨今、人口減少や多様化する市民ニーズに対応すべく行政改革が求められております。これまでも行政が直営で提供してきた行政サービスを、行政と民間がそれぞれの特性を生かしながら役割分担を行い、限られた人材・予算で多様化する市民ニーズに応えていただきたいことと、財政健全化に向けて、直営部門の見直しも含めた行財政改革を責任をもって、執行していただきたいことを強く要望いたします。

2 市民病院のあり方検討の進捗について

質問 本市民病院のあり方検討の進捗を伺います。

答弁 外部有識者、専門家などにより、施設の建替や移転新築などのハード面や、役割や経営などのソフト面の議論が交わされております。現段階で、費用や工事期間が新築する場合と比

べて増加し、工事中の利用者の安全が確保できないことや、現地在が浸水地域であることなどから、現地での病院継続は困難という議論になっております。

質問 施設を移転し新築する場合の試算額を伺います。

答弁 設計前の概算となりますが、現在と同規模の98床の場合では、工事費は約47億7千万円、60床の場合では約30億4千万円です。専門病院化するなどで38床に規模を縮小すると、約20億4千万円となります。加えて、建設用地を新規取得すると、98床、60床、38床で約4億4千万円、3億1千万円、2億3千万円が見込まれます。

質問 市の負担額が発生する場合の額を伺います。

答弁 現時点の目安では、年間の市の負担金は98床で約4億7千万円から5億9千万円、60床の場合は約3億から3億8千万円を見込んでおります。これは、建築費に係る償還金を含んでおり、シミュレーション上では償還期間を30年で設定していますので、施設竣工後、30年間、この金額を負担するものです。

要望 今後の市の負担額が最大で約6億円であり、30年間継続すると、次世代ヘツケがまわります。民間活力の導入も含めて

検討を進めてください。

3 教科書選定を巡る問題について

要望 2度と今回のような騒動がおきないようにしてください。一連の騒動における約700万円については、元校長などへ賠償請求を行うなど、様々な手段を講じ市民の血税による負担にならないよう尽力してください。



大阪維新の会
個人質問
生田 達也

1 公民連携について

質問 市が企業と連携し、市民の皆様にもなる行政サービスを享受いただくため、「企業パートナーシップデスク」を設置されました。現状の課題を伺います。

答弁 公民連携に対する発想が職員に定着せず、正しい理解が浸透していないのが課題です。
質問 市の計画に公民連携が位置付けられているのか伺います。

答弁 第五次総合計画、協働のまちづくり基本方針や行財政改革アクションプランにおいて推進していくと規定しています。
質問 規定しているのであれば、市側から企業に連携を促す

取り組みを行っているのか伺います。

答弁 企業側からのアプローチが多いのが現状で、本市側からは取り組めない状況です。

質問 今後控える連携協定の締結があればお聞かせください。

答弁 生田議員から紹介いただいたトヨタ自動車(株)など「大阪地区トヨタ販売店」5社との間で協定を締結いたします。
質問 私が窓口になりましたが、連携協定締結まで至ったのは担当部局のご尽力によるものです。その協定の内容を伺います。

答弁 本市に災害が発生や発生する恐れがある場合に、避難所や施設などに外部給電車両を貸し出していただき、地域の防災力向上に努める締結内容です。
質問 市民生活に直結する有意義な協定です。今後現状の課題を克服し、公民連携を推進するのか市長の考えを伺います。

答弁 全職員には公民連携を積極的に活用し、市民サービスの向上に取り組み指示をいたします。また、他市に発信できる「三方よし」の藤井寺モデルの構築も探っていきたいと考えます。



大阪維新の会
個人質問
河井 計実

1 わが市の動物愛護について

質問 動物愛護に対する取り組みの進捗状況をお尋ねします。

答弁 ボランティア団体との協働をはじめ、市広報へ動物愛護の関心、理解を深める特集記事の掲載や大阪府動物愛護管理センターの譲渡会などの案内、「おさかアニマルポリス#712」の周知、NPO団体主催の犬や猫の譲渡会の周知や、南河内の他市町村に先駆けての無料不妊手術チケットの発行。令和元年度にはボランティアと、また令和2年度にはNPO法人との協力で、市役所前ふれあい広場で保護猫の譲渡会を開催しました。ワンストップサービス制度への加入は、令和5年4月1日から開始する予定です。

要望 私が就任する以前の取り組みは広報活動程度しかなかったものが今では、数多くの取り組みを積極的に行っていただいていることがわかりました。動物愛護について、この4年間議場で発言したことで取り組みに大きく変化が起きていることを実感しております。また本件

の現実的な問題解決はボランティアさんたちとの連携しかないので連携に注力してください。

2 国民保護訓練について

質問 武力攻撃などの有事に備えた訓練内容を伺います。

答弁 「武力攻撃事態等」を対象とした「安否情報システム全国一斉訓練」や、「Jアラート試験放送訓練」また「エムネット導通試験訓練」などに参加しシステムの操作習熟に努めています。令和5年2月10日に実施された「令和4年度大阪府・京都府・兵庫県国民保護共同実動・図上訓練」では危機管理室の職員2人が視察しました。

要望 武力攻撃などもタブー視する事なく、武力攻撃などを想定した危機管理が必要な時代になってきたと認識しています。私の被災地での経験内容を取り入れていただき、危機管理室は変わったと思います。現在の危機管理室には「市民の命を必ず守る」という覚悟があり、頼もしく感じますので、引き続き、よろしくお願いたします。



政新クラブ
代表質問
岡本 光

1 新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけ変更に伴う影響について

質問 市民病院の対応はどのようになるのかお聞かせください。

答弁 大幅な対応方法の変更は考えていません。
質問 コロナ病床はどうなるのかお聞かせください。

答弁 コロナ専用の病床は順次、縮小していくと思われます。
質問 経営面での影響についてお聞かせください。

答弁 コロナ補助金は縮小・廃止されるものと考えられます。
要望 コロナ補助金の縮小・廃止が予測され、患者数もコロナ以前の状態にはすぐに回復することは難しいと思われるので、一層の経営努力をお願いします。

2 スポーツを通じた健康増進について

質問 本市の高齢者が体力的に無理なくできるスポーツについてお聞かせください。

答弁 グラウンドゴルフやゲートボール、卓球があります。



ニュースポーツ分野ではフロッカーが定着しています。

質問 ニュースポーツフェスタの開催状況と高齢者の参加状況についてお聞かせください。

答弁 令和4年度は3年ぶりに開催することができ、過去の参加者数では、約半数が高齢者の参加となっています。

質問 年齢・性別を問わず楽しめるニュースポーツの検討状況についてお聞かせください。

答弁 「モルック」という競技を調査・研究しています。

質問 年齢・性別を問わず楽しめる「ピックルボール」について、お考えをお聞かせください。

答弁 生涯スポーツ振興の観点から総合的に検討していきたいと考えています。

要望 「ピックルボール」を含め、高齢者も気軽に楽しめる新たな種目の検討を引き続きお願いいたします。

3 事件や犯罪に巻き込まれないための教育について

質問 事件や犯罪に巻き込まれないための活動や啓発に関する取り組みについてお聞かせください。

答弁 羽曳野警察署管内防犯協議会や羽曳野警察署安全なまち

づくり協議会による啓発活動、藤井寺市防犯委員会や自治会による様々な活動を実施していただいています。

質問 学校現場での教育についてお聞かせください。

答弁 「情報活用能力カリキュラム」を作成し、インターネット活用の長所と短所を学ぶことで、情報リテラシー・モラルの育みを目標に取り組んでいます。

質問 高齢者に対しての取り組みについてお聞かせください。

答弁 今年度は公民館講座のいきがし学級にて、「特殊詐欺防犯教室」や「スマートフォン体験講座」などを実施しました。

要望 複雑化する事件や犯罪を踏まえ、見直しの視点を持ちながら引き続き啓発活動をお願いします。

4 市政を効果的に進める体制づくりについて

質問 現状の組織の課題についてお聞かせください。

答弁 技術職員や保育士などの人材不足の課題があります。また、行政DXやSDGsの推進など、新たな課題への対応が必要となっています。

質問 機構の課題についてお聞

かせください。

答弁 組織規模の適正化や法改正や複雑化する業務への対応などが検討課題となっています。

質問 市長のお考えをお聞かせください。

答弁 人材育成をはじめとする組織力、それらを支える財政力を高め、「観光」「健康」「環境」分野を重点的に進めていきたいと考えています。

(2) 人材の適正配置について

質問 人材の適正配置に関する課題についてお聞かせください。

答弁 新型コロナウイルスへの対応などにより、業務量と実働職員数のバランスが崩れていきます。

質問 人事異動に関する方針やルールとこれまでの見直し状況についてお聞かせください。

答弁 新規採用後、一定期間で複数の部門を経験できるように計画的な人事異動としており、3年から10年でおおむね一度は異動を経験している状況となっています。

(3) 業務内容の整理について

質問 「業務の見える化」について、進捗状況をお聞かせください。

答弁 市ホームページにて部運


ドマップを公開し、見える化を進めています。

質問 業務を評価・改善する仕組みについてお聞かせください。

答弁 総合計画に基づく実施計画事業を評価し、令和5年度予算の取り扱いの検討に活用しています。

要望 持続可能な自治体経営が重要となりますので、将来を見据えたコンパクトで強固な組織づくりをお願いします。

岡本光の議会質問の録画映像はこちら▼



1 核抑止力論についての市長の見解を問う

質問 核抑止力論を前提とした核共有などの議論に對抗し、核兵器廃絶に向けた取り組みをどのように進めますか。

答弁 平和首長会議と連携し、国連及び各国政府に対し、核兵器禁止条約への参加など核兵器の廃絶に向けた取り組みを拡大

させることを要請するとともに、平和文化の振興に向けた平和事業に取り組んでまいります。

2 市民のくらしを守る市政の発展をめざして

質問 大阪府全域における高齢者施設において、直近のクラスター発生件数を教えてください。

答弁 デルタ株が流行した令和4年の2月268・3月は262

か所、4月から6月は100か所以下に落ち着いたものの、感染力の高いオミクロン株が主流となった7月は222か所、ピークとなった8月は982か所、9月は278か所、10月は119か所と減少したものの、第8波の影響により11月は286か所、12月は518か所、1月は662か所となっており、8月にみられた急激な増加はないものの、ゆるやかな増加が長期間継続している状況です。

質問 大阪府は人口比で死者数は東京の1.6倍、保健所は全国で最も少なくなっています。柏原羽曳野藤井寺消防組合管内における救急搬送困難事例は令和2年度424件に対し、令

和4年度は2668件と大きく

増えています。医療体制は充実
こそ必要で、ベッド数が足りて
いるという地域医療構想は地域
の実情にあっていません。たく
さんの命が失われる中で、コロ
ナ対応に頑張ってきた公立病院
である藤井寺市民病院を、充実
させる必要こそあれ、無くして
はいけないと思いますが、市長
のお考えをお聞かせください。

答弁 市民病院の果たしてきた
役割についても十分に認識して
いますが、今後、藤井寺市民病
院あり方検討委員会の答申を受
け、適切に判断してまいります。

**(2) 高すぎる国民健康保険料を
引き下げることを求める**

質問 40歳代夫婦と未成年2人
の4人世帯で所得が200万と
した場合の保険料は大阪府が進
める統一保険料の前と現在でど
うなっていますか。

答弁 平成29年度(年度間で比
較できるよう所得額から差し引
く基礎控除額を10万円加算して
試算)が38万6700円、令和
5年度は44万235円です。

質問 国民健康保険財政調整基
金残高をお聞かせください。

答弁 平成29年度(大阪府の統
一保険料になる前)末現在で
789万7210円、令和3年
度末現在で2億5791万22

63円となっております。

要望 保険料が上がって、基金
がたまっていないのに、保険料引
き下げに還元できない統一保険
料は制度的欠陥を持っていま
す。賦課権限は市にあります。
大阪府の統一保険料制度を改め
ることを強く府に求めるとも
に、市民のくらしを守るため
に、高すぎる保険料を市独自に
引き下げてください。

**3 教科書採択をめぐるあらゆ
る不正を正すために**

要望 教育委員2人の辞職の過
程は真相究明の点で曖昧さがあ
り、教育委員会としての自浄能
力を発揮すべきだと考えます。
市長にも議会にも、両名の任命
を認めていた以上、市民への説
明責任があり、真相究明の責任
を果たすべきだと強く申し述べ
ます。



日本共産党
個人質問
木下 誇

**1 子育ての負担軽減について
(1) 学校給食無償化の継続を求
める**

質問 令和5年4月以降も引き
続き物価高騰の影響は続くかと考
えられます。給食費の無償化は
継続すべきです。いかがですか。

答弁 多額の経費が必要とな
り、財源確保が重要になる事か
ら現時点では継続予定はありま
せん。

**(2) 市立保育所における新たな
保護者負担について**

質問 令和5年4月から公立保
育所の3歳児以上のクラスにお
いて、子ども1人につき毎月
500円を徴収することので
す。これまで保育活動で職員が
制作のために使用するものや子
どもたち自身が使う材料や用具
は消耗品費として市が予算計上
してきました。推移を教えてください。

答弁 平成30年度765万5千
円、令和元年度705万3千円、
令和2年度710万3千円、令
和3年度658万4千円、令和
4年度628万5千円です。

質問 保育活動の内容をさらに
充実させるために、子どもたち
個々の希望に応じていける材料
をそろえるのであれば、新たな
保護者負担を求めるのではな
く、今まで減らしてきた市の予
算を増額すべきです。いかがで
すか。

答弁 今回の実費徴収について
は保護者に一定ご負担をお願い
したい。生活保護世帯の方には
国の制度を活用して負担軽減に
取り組んでいきます。

**(3) 保育料の多子世帯減免制
度の拡充を求める**

要望 現在の制度は、保育所等
を利用している未就学児のみを
カウントする年齢区分を設けて
います。そのことで、同じ所得
で、同じ兄弟の人数がいる多子
世帯であっても受けられる軽減
額が変わり保育料に差が出てい
ます。年齢区分の撤廃を行い、
制度の拡充を強く求めます。



会派に属さない議員
個人質問
花崎 由貴子

**1 子どもが安心できる居場所
をつくることについて**

質問 子どもには安心できる居
場所が必要だと考えます。令和
4年に実施された「子どもの生
活に関する実態調査」の結果で
も、そういう場所が必要である
ことが分かります。市の取り組
みなどをお聞かせください。

答弁 様々な親子で交流できる
場を設けること、ひとり親家庭
等の子どもを対象に「ひとり親家
庭等学習支援事業を実施してい
ます。個人・団体により開催さ
れている「子ども食堂・地域食

堂事業で地域の居場所づくりも
担っていただいています。

質問 市は、「子ども食堂・地域
食堂」にどのような支援をされ
ているのかお聞かせください。

答弁 大阪府からの情報提供や
「ピアッザ」(地域アプリ)での情
報発信、また、相談のできる関
係性の構築にも努めています。

質問 子どもの居場所に対する
考えと今後の取り組みをお聞か
せください。

答弁 支援事業の周知が行き届
いていない状況を踏まえ、地域
子育て支援拠点事業について
は、気軽に集える居場所として
明確に伝わるような広報紙の内
容に変更する予定です。

要望 実態調査の結果、孤立感
を持つ子どもは、少なくないこ
とが分かります。寂しさを抱え
る子どもが、安心できる居場所
があれば、そこで見守ってくれ
る地域の方々と触れ合い、自分
を認めてもらえることで自己肯
定感を持てるようになるかもし
れません。就労されている子育
て世帯も多くなり、拠点事業は
多様な形を望まれている声があ
ります。ごども家庭庁の設置
で、子どもの居場所づくりに関
する指針が示されます。動向を
待たず、さらなる支援と充実さ
せる取り組みをお願いします。

令和5年第1回定例会議決結果一覧

		ふじいでら 改革		公明党			維新の会 大阪			政新クラブ		日本共産党		無党派	結 果
		山本 忠司	畑 謙太郎	國下 尊央	片山 敬子	伊藤 政一	玉田 日登美	生田 達也	松木 洋介	河井 計美	麻野 真吾	岡本 光	木下 諒	瀬川 覚	
報告第1号	専決処分の承認を求めることについて(令和4年度藤井寺市一般会計補正予算(第13号))	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
報告第2号	専決処分の承認を求めることについて(令和4年度藤井寺市公共下水道事業会計補正予算(第3号))	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案第1号	藤井寺市印鑑条例の一部改正について	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第2号	藤井寺市子ども・子育て会議条例の一部改正について	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第3号	藤井寺市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第4号	藤井寺市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第5号	藤井寺市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第6号	藤井寺市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第7号	市道路線の認定、廃止及び一部廃止について	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第8号	令和4年度藤井寺市一般会計補正予算(第14号)について	○		○	○	○	○	○	棄	○	○	○	○	○	原案可決
議案第9号	令和4年度藤井寺市一般会計補正予算(第15号)について	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第10号	令和4年度藤井寺市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第11号	令和4年度藤井寺市公共下水道事業会計補正予算(第4号)について	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第12号	令和5年度藤井寺市一般会計予算について	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	原案可決
議案第13号	令和5年度藤井寺市国民健康保険特別会計予算について	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	原案可決
議案第14号	令和5年度藤井寺市後期高齢者医療特別会計予算について	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	原案可決
議案第15号	令和5年度藤井寺市介護保険特別会計予算について	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	原案可決
議案第16号	令和5年度藤井寺市病院事業会計予算について	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第17号	令和5年度藤井寺市公共下水道事業会計予算について	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第18号	藤井寺市国民健康保険条例の一部改正について	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第19号	令和4年度藤井寺市一般会計補正予算(第16号)について	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第20号	令和4年度藤井寺市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第21号	令和5年度藤井寺市一般会計補正予算(第1号)について	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
請願第1号	家族従業者の働き分を認めない所得税法第56条の廃止を求める要請書に関する請願について	×		×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	不採択
議員提出議案第1号	藤井寺市議会の個人情報保護に関する条例の制定について	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

議長のため、表決せず

※表の見方 「○」は賛成 「×」は反対 「棄」は棄権

臨時会の日程

5月24日(水)
議会役員改選など

第2回定例会の日程

【本会議】

6月20日(火) 提案説明
6月28日(水) 一般質問
6月29日(木) 一般質問
7月11日(火) 委員長報告・採決など

【委員会】

7月4日(火) 民生文教常任委員会
7月5日(水) 総務建設常任委員会